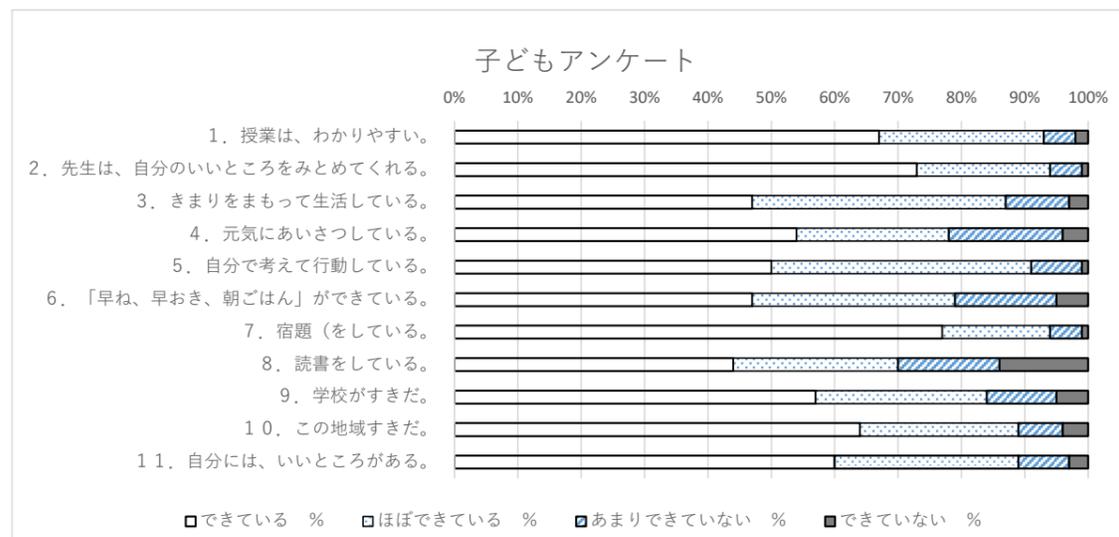
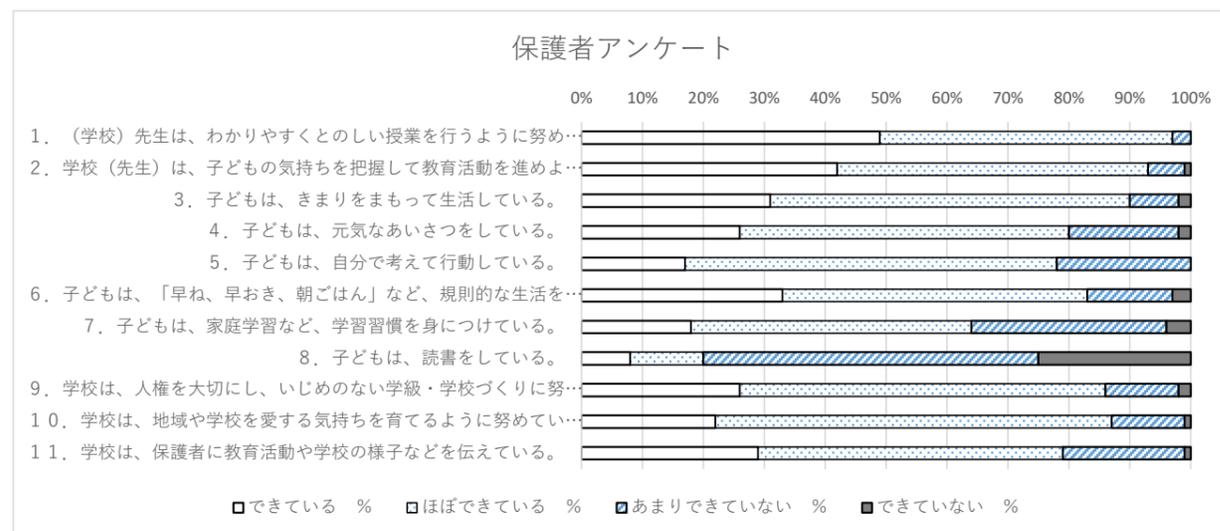


## R5 学校評価アンケート結果

子どもアンケート	できている %	ほぼできている %	あまりできていない %	できていない %
1. 授業は、わかりやすい。	67	26	5	2
2. 先生は、自分のいいところをみとめてくれる。	73	21	5	1
3. きまりをまもって生活している。	47	40	10	3
4. 元気にあいさつしている。	54	24	18	4
5. 自分で考えて行動している。	50	41	8	1
6. 「早ね、早おき、朝ごはん」ができています。	47	32	16	5
7. 宿題（をしている）。	77	17	5	1
8. 読書をしている。	44	26	16	14
9. 学校がすきだ。	57	27	11	5
10. この地域すきだ。	64	25	7	4
11. 自分には、いいところがある。	60	29	8	3



保護者アンケート	できている %	ほぼできている %	あまりできていない %	できていない %
1. (学校)先生は、わかりやすくてのしい授業を行うように努めている。	49	48	3	0
2. 学校(先生)は、子どもの気持ちを把握して教育活動を進めようとしている。	42	51	6	1
3. 子どもは、きまりをまもって生活している。	31	59	8	2
4. 子どもは、元気なあいさつをしている。	26	54	18	2
5. 子どもは、自分で考えて行動している。	17	61	22	0
6. 子どもは、「早ね、早おき、朝ごはん」など、規則的な生活を送っている。	33	50	14	3
7. 子どもは、家庭学習など、学習習慣を身につけている。	18	46	32	4
8. 子どもは、読書をしている。	8	12	55	25
9. 学校は、人権を大切に、いじめのない学級・学校づくりに努めている。	26	60	12	2
10. 学校は、地域や学校を愛する気持ちを育てるように努めている。	22	65	12	1
11. 学校は、保護者に教育活動や学校の様子などを伝えている。	29	50	20	1



教育活動を振り返り改善していくため、1月に学校評価アンケートとして、「子どもアンケート」と「保護者アンケート」を実施しました。ご協力ありがとうございます。

内容につきましては、1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 10の項目において、「子どもアンケート」と「保護者アンケート」両方に関連性のあるものとなっています。見方としては、「できている(そう思う)」と「だいたいできている(だいたいそう思う)」を肯定(率)、「あまりできていない(あまりそう思わない)」「できていない(そう思わない)」を否定(率)と捉えます。肯定率が80%以上であることを基本と考えています。

◇「1わかりやすい授業」や「2いいところを認めてくれる・気持ちを把握して」の肯定率は、昨年同様いずれも90%を超えています。特に教職員としましても、授業研究や児童理解についての研修に取り組んだり、児童の様子をこまめに交流し共通理解を図ったりしながら進めています。しかし、いずれの項目につきましても「できていない(そう思わない)」という回答があります。これを重く受け止め、主体的に子どもが学ぶわかりやすい授業と温かい学級経営をめざし、より一層子ども一人一人と向き合っていく必要性を感じます。

◇「3きまりをまもって」・「4元気にあいさつ」については、いずれもあまり変わりがない状態です。子どもたちのあいさつがとてもうれしいと地域の方からもお声をいただいています。続けて働きかけていきます。ご家庭でも声掛けをお願いします。また、年度末の機会に、持ち物や服装、分団登校など基本的な部分の点検にもご協力をお願いします。なお、靴下や靴の色の規定をなくすなど校則について見直しているところです。今後も検討を続けていきます。

◇学校目標でもある「5自分で考えて行動する」についても昨年とほぼ変わりなく、子ども90%、保護者80%程度の肯定率でした。未来を生きる子どもたちには、学習やそれ以外の場面でも、主体性が求められるようになっていきます。コロナが5類に移行したこともあり、少しずつ子どもが主体的に活動し、それを皆で認め合う場が広がりつつあります。子どもに考えさせ選択させ責任を持たせるとともに達成感と自信につながるよう積極的に推進していきたいを思います。

◇「6早寝、早起き、朝ご飯」については、いずれも肯定率が80%前後です。子どもの体や脳の成長に睡眠は深くかかわっていると提唱されています。また、朝ご飯を食べないと、体温が上がらず、脳も活性化しにくくなります。朝から良いスタートが切れるようご協力をお願いします。

◇子どもの「7宿題をしている」の肯定率94%に対し、保護者の「7学習習慣」の肯定率は64%で30%の開きがあります。宿題の目的の一つに学習習慣の定着があります。時間を決めて取り組んでほしいです。早く終われば、残りの時間を音読や読書、予習・復習、自由勉強などにあてるのもいいですね。学校でも勉強の仕方について、丁寧に伝えていきます。また、宿題の提出状況等連絡を取らせていただくこともあります。気になる場合はご連絡ください。

◇「8読書をしている」についての肯定率は、子ども70%、保護者約20%といずれも低い水準です。図書ボランティアさんに絵本コーナーを新設いただき、本の位置がよりわかりやすくなるよう工夫もしています。廊下には理科にかかわる本の紹介や楽しい掲示もあり、休み時間に図書室を訪れる子どもは増えています。委員会も読書スタンプラリーなどを実施しました。読書習慣につなげられるよう今後も取り組んでいきます。家族と一緒に読書タイムもお勧めです。

◇「9学校が好きだ」の結果は、昨年同様肯定84%、否定率16%です。うち4%が「そう思わない」と回答しています。注意深く子どもを見ながらどの子にとっても学校が安心できる楽しい場所であるように、チームとして取り組んでいきたいと思えます。お子様の様子で気になること等ありましたら学校にもお伝えいただけるとありがたいです。

◇子どもの「10この地域が好きだ」の肯定率は90%近く高い値を示しています。この土地ならではの温かさが子どもにも伝わっているように思います。この強みを活かし、積極的に交流していきたいと思えます。子どもにとっても地域の方にとっても楽しい時間が持てたらと思えます。昨年度に引き続きボランティアさんと子どもの交流を持ちました。また、公民館とのコラボで俳句教室を子どもたちも体験しました。ヨガ体験も予定しています。